

「1980年1月から2011年12月末までに川崎医科大学附属病院で下部消化管（小腸・大腸）の悪性疾患と診断され治療を受けられた患者さんへのお知らせ」

「川崎医科大学における下部消化管の悪性疾患手術症例の治療成績」に関する研究について

当教室では、1980年1月から2011年12月末までに、川崎医科大学附属病院で下部消化管の悪性疾患（大腸癌、小腸癌、大腸肉腫、小腸肉腫）と診断され手術や化学療法を受けられた患者さんについて、診断時や術後の検査成績と手術標本の結果が、その後の治療経過にどう影響するかをさかのぼって検討することを、倫理委員会により承認を得ました。

本研究の目的は、下部消化管疾患の予後に影響を与える因子を検討し、今後の臨床現場に役立てることです。この研究結果は学会演題や学術論文として発表される予定です。本研究は手術標本を再評価し、カルテからのデータのみを収集する観察研究であり、患者さんの個人情報をも抹消した状態で解析します。従って、患者さんの個人情報が外部に漏れる心配は全くありません。本研究におけるすべての研究者において、研究費は教員研究費を用いるため利益相反はありません。質問のある方は、遠慮なく下記の問い合わせ先にご相談下さい。

本研究のお問い合わせ先

担当者： 消化器外科学 准教授 山下 和城

e-mail: kazuki@med.kawasaki-m.ac.jp

TEL: 086-462-1111, FAX: 086-462-1199